TAIYO KENKI RENTAL

建設機械
Safety Information

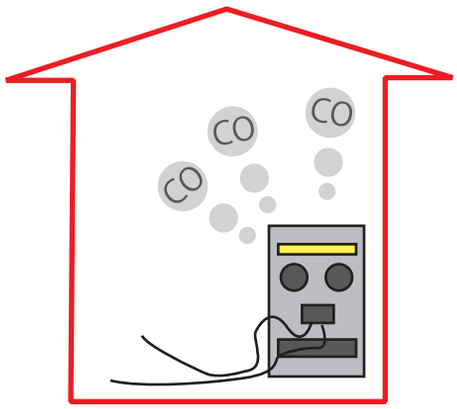
事例と対策

建設機械を安全にお使いいただくために

平素より弊社建設機械をご用命いただき、誠にありがとうございます。
この度弊社では、皆さまに建設機械をより安全にご使用いただくよう、Safety Information をお届けさせていただきます。
下記は特定の事故ではなく建設機械一般の事故を前提に作成しており、皆さまの安全管理の一助となれば幸いです。

事例 1

屋内使用による一酸化炭素中毒



一酸化炭素中毒事故

排気ガスが滞留しやすい密閉された屋内で
発電機を使用し、一酸化炭素中毒に至った。

事例 2

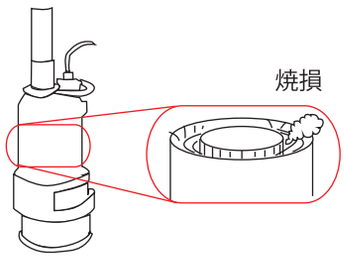
雨後の現場で感電

感電事故

雨後の現場で、濡れた状態で、
電動工具を使用しようとした
ところ感電。

事例 3

結線間違いによる接続機器の破損



破損事故

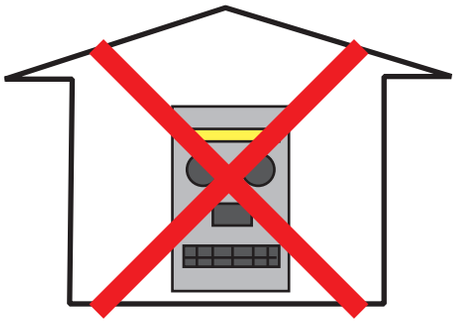
電源側の200V と 400V の電圧
設定を間違え、接続していたポンプ
のモーターを焼損。

事故防止策のヒントを裏面でご紹介しています。

安全確認基本事項のお願い

・各建設機械の能力を超えた作業は実施できません。
・積み下ろし等は平坦な場所で行います。
・誘導者を配置し、作業者との相互合図を決定します。
・作業開始前の安全装置の機能保持をお願いします。

対策 1　室内及び換気の悪いところでは使用禁止！

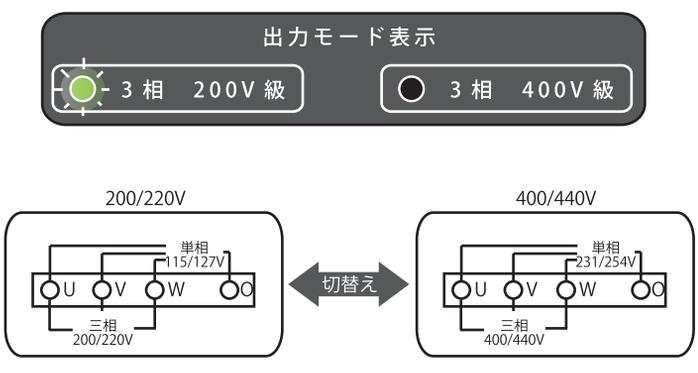


・排気ガスには、有害な CO（一酸化炭素）が含まれています。CO を吸い込むと、CO 中毒により命を落とす可能性もあります。
必ず、発電機は、換気の良い場所に設置してください。
・また、排気が人家などに入りそうな場所では、使用しないでください。

対策 2　雨や水がかかる場所では使用しない！

・雨や水で濡れた発電機や電動工具を使用したり、濡れた手で扱ったりすると、感電することがあり危険です。
・発電機の漏電対策や、作業者の感電対策を行ってください。

対策 3　電圧設定の確認を行ってください！



・電圧設定に間違いがないか、短絡プレートの位置や、出力電圧表示灯により確認を行ってください。
・モーター負荷は、欠相運転すると、すぐにモーター焼損に至ります。

○本紙の内容は参考例であり、実際の運用にあたっては現地条件を考慮し、各建設機械の仕様等をご確認のうえ、ご使用ください。
○本紙は安全啓蒙を目的としたものであり、本紙の内容にて発生した障害および事故について、弊社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。